



【は】っけん・気付く

久遠

【ル】ートを考えつながら

【え】がおを創り出す



春江中学校教育目標

- 自ら進んでよく学び、協力して働く生徒
- 規律を守り、責任を重んずる生徒
- 心身ともに健康で、思いやりのある生徒



立 志

校長 横枕 耕史

昨年、両親が他界したため実家を整理していたら、私が中学2年生の時に行われた「立志式」の冊子が見つかりました。私の

還暦を迎え当時の決意をこうやって振り返ると、苦勞しながらも実現することができたのは、私を愛し支えてくれた亡き父母、ご指導いただいた先生や先輩、友人や仲間たちのおかげだと感謝しています。

の故郷では、14歳の立春の日に「立志式」という行事が行われていました。立志式の由来は、かつて公家・武家社会で冠を被り幼名を改め実名をつけ大人になる儀礼「元服の儀」になります。14歳という年齢になれば、中学生として精神的にも子供から大人へ移り変わる時期であり、法律的にも少年法の刑事責任がでてきます。将来、進学就職に関わらず、自己について深く考え、人生の進路について思いを及ぼす時期であり、青年期に差し掛かる重要な年齢であることを自覚し、自己の言動や行動に責任を強くもち、たくましく心身を鍛え、健康でさわやかな希望を持った中学生として前進するように、その前途を祝い励ますために立志式が行なわれました。

さて、本校では「未来を主体的に生き抜く力」を身に付けるため目標ある生活を計画的に実行するよう生徒に促しています。これまで3年生の受験の面接試験の対策として管理職による面接練習を実施していましたが、今年の6月から生徒一人ひとりに将来の「なりたい自分」について真剣に考えてもらうため、3年生全員を対象に「校長面談」を昼休みや放課後に一人ずつ実施しています。これまで行った校長面談では、「将来の夢は、どんな大人になりたいのか、就きたい職業は、どのような進路を考えているのか」などの質問に対し、緊張しながらも自分の考えや決意をしっかりと述べ応答する生徒が多くいました。生徒の意義ある人生を祝福し今後の健闘を祈ってやみません。

この冊子には、懐かしい同級生全員の名前と各々の希望の職業とその決意、保護者からの励ましの言葉が記されています。私は、次のように記していました。

希望の職業	教師
私の決意	美術関係の方に進み、教師として美術の方を担当したい。 その為に、もっと腕を磨きたい。
保護者の励まし	自分の信ずる道をあせらず、一步一步、着実に前進すること。(父)

我は鉄なり 武者小路実篤

鍛えられるにしたがって
我は強くなるべし
我が弾力はますべし
我は鉄なり
おそることなし
悪魔よ 神よ
我を鍛えよ
して 我のいかに強くなり得るかを
試みよ